

飲水思源

自動車販売のリーダー

18

菊池武三郎伝

山口昇は明治29年、愛知県生まれ。慶応普通部の時には、野球部の選手として活躍した。第2回全国中等学校野球大会(現在の全国高校野球選手権大会)では、エース兼主将として優勝の立役者となった。

山口昇は明治29年、愛知県生まれ。慶応普通部の時には、野球部の選手として活躍した。第2回全国中等学校野球大会(現在の全国高校野球選手権大会)では、エース兼主将として優勝の立役者となった。

販売組合理事長に就任

トヨタ自動車販売組合の初代副理事長に就いた山口昇



運営融和の基盤形成

自動車販売組合結成準備会に集まった一同は、山口に組合理事長への就任を要請した。しかし山口は聞き入れず、菊池武三郎を強く推した。それは「私の履歴書」(日本準備会翌日の創立総会

経済新聞)によると、神谷の考えは次のようなものだった。

「旧日産系の人々とトヨタプロパーの人々との融和を図るために、旧日産系の菊池武三郎氏に初代理事長をお願いすることにした。それで全員に一致団結の重要性を認識してもらった。そして『混成部隊』

は短期間の間に『純粋部隊』に昇華できた。こうして強力なトヨタの販売網を形成する基盤が生まれた。

は、販売店代表46人とトヨタ本社の豊田喜一郎、神谷正太郎、運輸省(当時)などからの来賓が出席して開催。理事長に武三郎、副理事長に山口といった役員を決めた。

同組合は、結成と同時に活発な活動を開始した。東京に事務局を置き、毎月の理事会会議は名古屋市にあった愛知トヨタ経営のみゆき旅館で行った。23年5月には、トヨタ自動車販売店協会へと名称を変更した。

(文中敬称略) 〓つづく、毎週金曜日掲載